

第2回富山県企業局経営戦略検討委員会 議事録

○議事要旨

【経営戦略の素案について】

① 本文について

- ・経営方針案は簡潔でよいが、「環境変化への対応」や「企業価値の向上」についての言及も必要では。
- ・人手不足よりも仕事の意義や魅力を強調し、基幹産業としての格調高い「広報」を。
- ・経営戦略上、経費削減の具体策の記載が乏しいのでは。
- ・設備は効率性や省エネ性が大事。ドローンやDXによる経費の徹底的な削減が必要。

② 投資・財政計画について

- ・投資・財政計画に係る前提条件の工事費の物価上昇率（2.5～2.8%）は低く感じる。
- ・電気事業では、発電量の向上に向け、高効率で高性能なタービンを導入することや、保守管理を強化し、修理費を削減する努力も必要。
- ・水道事業について、投資・財政計画の試算上では料金が据え置きとなっているが、今後の収支を踏まえると値上げの検討が必要ではないか。
- ・水道事業について、将来の赤字の見通しを踏まえると、早急に解決策を検討すべき。
- ・水道事業では、徹底したコスト削減が重要で、それでも難しいとなった段階で料金の改定を考えるべき。
- ・工水事業（八尾）では、供給能力が上限に達していることもあり、水道事業同様にコスト削減が重要。
- ・工水事業（利賀）では、新規企業誘致とDXの活用で、収益の増加とコスト削減を。

【DXへの取り組みについて】

- ・DX関係では、失敗の許容や、失敗からの学び、挑戦の姿勢が大切。管路の老朽化診断、漏水検知など、デジタル技術を活用した優先度付けも大事。DX推進担当課との連携を図り、現場と相談しながら段階的に進めるべき。

【施策に係るご提案について】

① 本県の特徴を活かした企業誘致

- ・工水事業について、半導体など他県の企業誘致も参考に、県・市町村の誘致部門と連携した誘致を強気に盛り込んではどうか。
- ・本県の強みである電力と水をアピールし、A I ・データセンターの誘致を進めるべきでは。富山の水は価値が高いと思われるため、アピールできる。
- ・土地・電力・水を活かせるため、データセンターの誘致に前向きに取り組んではどうか。

② 太陽光発電のあり方

- ・太陽光発電については、F I T / F I P 後の自立自走型の太陽光発電のあり方を検討していく必要があると考える。また、規制強化だけでなく地域へのメリット（料金割引等）も的確に見出し、発信していく必要がある。管理の人手や撤去まで含めると、野立て型が妥当であると思われるが、将来に向けたサステナブルな設計が必要。

③ 脱炭素化の一層推進

- ・地域脱炭素化促進区域：本県の進め方は整合的。事業者にも積極的に広報すべき。
- ・G X 戦略地域制度に関連し、G X 産業団地等への応募体制を県として検討してはどうか。